

庁議の概要

開催日 平成 23 年 1 月 11 日 (火)

◎項 目

- 1 各部局等の動向について【各部局等】
- 2 その他

◎内 容

1 各部局等の動向について【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布の上、概要説明を行った。

(知事)

- ・(土佐・龍馬であい博の閉幕にあたって)開幕前から色々な意見もある中で、関係者みんなが一丸となり、リスクを取って前に進もうと準備をしてきた。また開幕してからは、観光客の動向をきめ細かく把握し、状況に応じて例えば高速道路でのPRや桂浜の渋滞対策を講じてきたことが、高知県の好感度アップにつながり、その後も良い影響をもたらし、結果として来館者 92 万人につながったのだろう。膨大な組織体系でチームワークも保ち、この 360 日間、年末年始も返上で休みなく頑張っていた。であい博は産業振興計画全体の前進に大いに寄与した。色々な意味で自信をもらった。関係の皆さまにもぜひよろしくお伝えいただきたい。

2 その他

(知事)

- ・大河ドラマが終わった翌年にイベントを実施するのは全国でも初めての挑戦だが、果敢に挑戦して正念場で力量を発揮したい。「志国高知 龍馬であい博」はいよいよ開幕へのラストスパートを切り始める時期だ。総力戦となるので各部局ともよろしく願いたい。例えば四国 4 県で会議があるときにはパンフレットを配る、などといったレベルから徹底してPRをお願いしたい。今ならまだ熱気が残っているので効果的なPRが可能だ。早い時期での対応が非常に重要となる。
- ・産業振興計画の改定の大きなポイントとなる部分は可能な範囲で小まめに相談をいただきたい。今年は県民の皆さんに、具体的な成果、もしくは将来の希望が持てると確信をしていただけるようなものを見ていただく年にしたいので、改定には意を用いていかなければならない。
- ・健康長寿県構想は1回目の改定で、まだいろいろと練り込んでいきたい部分もあると思うので、さらに検討を深めていきたい。
- ・予算編成について、近年、予算の項目が膨大になっており、結果として予算編成が大変になり、議会で指摘を受けることも少しずつ増えてきている。そこで、例えば「単価×人数」など原則論に立ち返った精査や、公益性という視点で、公益あるものとしてどうか、代替手段はないか、後年度負担はどうかなどをチェックして、最大効率を生み、かつ説明責任を果たせる予算にしてほしい。予算とは生むときに苦労して、執行段階はできるだけスムーズに、また議会でもきちんとした議論ができるものになるのが一番だ。今の時期の苦労は、後々、適正な執行による県政への信頼や効果的な業務執行につながっていくと思っているので、よろしく願いたい。